

議会だより

第18号

■発行：佐渡市議会 ■責任者：竹内道廣 ■編集：議会報編集特別委員会
〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394番地 ☎(0259) 57-8133



佐渡国際トライアスロン大会／
佐渡ちびっこ・ジュニアトライアスロン大会



9月定例会

- ★平成20年第5回 定例会 … 2p
- ★人事案件・請願・陳情・その他… 3p
- ★一般質問…………… 4～12p
- ★常任委員会活動報告… 13～16p

- ★特別委員会活動報告… 17～18p
- ★（平成20年第3回市議会定例会及び
第4回市議会臨時会における常任委員会の）
要望意見に対する処理状況 19p
- ★議会のうごき・行政視察来市状況
編集後記…………… 20p

平成20年 第5回定例会

平成20年第5回（9月）定例会が9月4日（26日の23日間の会期で開催されました。一般質問には、17人の議員が登壇し市政をただしました。

歳入歳出に8億5312万9000円を追加し、総額を448億5271万6000円とする一般会計補正予算案など20議案と意見書6件を可決しました。

行財政改革特別委員会からは、議会機能と本庁・支所・出張所のあり方についてなどの中間報告が行われました。

また、平成19年度の一般会計、病院事業会計及び水道事業会計決算の3件を継続審査にするとともに、人権擁護委員候補者の推薦に同意し閉会しました。

主な議題

- ◆佐渡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆佐渡市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆佐渡市若者支援向け賃貸住宅条例等の一部を改正する条例の制定について
- ◆財産の減額譲渡について（旧ゆとりぴあ真野）
- ◆平成20年度佐渡市一般会計補正予算（第5号）（第6号）について
- ◆平成20年度佐渡市病院事業会計補正予算（第1号）について

人事案件・請願・陳情・その他

◆人権擁護委員候補者の推薦について

菊 地 和 恵 (真野地区)

可決された意見書

- ◆ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める意見書
- ◆原油価格高騰の緊急対策を求める意見書
- ◆子どもたちが学費を心配せず私立高校で学べるようにするために、私学助成の増額・拡充を求める意見書
- ◆地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書
- ◆道路特定財源の一般財源化に伴う地方の道路予算確保に関する意見書
- ◆新たな過疎対策法の制定に関する意見書

継続審査となった請願・陳情

- ◆適正規模の少人数学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願
- ◆へき地級地見直しに関する請願
- ◆国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める陳情
- ◆後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書を国に提出することを求める請願

7月22日第4回臨時議会が 開催されました

本臨時会では、国民健康保険税条例の一部改正、歳入歳出それぞれに1億5,991万8,000円を追加し、予算総額を439億9,958万7,000円とする一般会計補正予算や、北小浦漁港の災害復旧工事の請負契約の締結についてなど、7議案を可決しました。





一般質問



ココが聞きたい!!

- 村川 四郎 議員……………④
- ◆佐渡から甲子園を目指せ
- 田 中文 夫 議員……………⑤
- ◆余剰職員の活用策と削減策について
- 金 田 淳 一 議員……………⑤
- ◆合併特例債事業の今後の取組みを問う
- 中 川 直 美 議員……………⑥
- ◆地産地消で佐渡づくりを
- 猪 股 文 彦 議員……………⑥
- ◆農・畜・水各産業の新たな展開で佐渡の発展を
- 金 光 英 晴 議員……………⑦
- ◆農業公社の統廃合について
- 浜 田 正 敏 議員……………⑦
- ◆トキ葛遺産・杉の群生の生態系環境文化が持つこの原点である
- 廣 瀬 擁 議員……………⑧
- ◆総合防災訓練の反省点と課題
- 大 桃 一 浩 議員……………⑧
- ◆佐渡経済の復興が必要
- 佐 藤 孝 議員……………⑨
- ◆本庁・支所のあり方について
- 祝 優 雄 議員……………⑨
- ◆佐渡観光の問題点
- 本 間 千佳子 議員……………⑩
- ◆地域の活性化は共生社会の構築に
- 加 賀 博 昭 議員……………⑩
- ◆ATR70人乗りを羽田に飛ばす
- 川 上 龍 一 議員……………⑪
- ◆職員の削減とその方策は
- 小 杉 邦 男 議員……………⑪
- ◆県は二次医療圏問題としての責任を
- 中 村 良 夫 議員……………⑫
- ◆燃油は直接補てんで
- 近 藤 和 義 議員……………⑫
- ◆市財政逼迫は自民党の政策に起因



一般質問

村川 四郎 議員

佐渡から甲子園を目指せ



【質問】 今夏の高校野球県予選の盛り上がりから、ポスト甲子園で島民の心は一つになると確信した。佐渡から甲子園を目指す市長の策を聞きたい。

進めぬ地域医療政策

【質問】 佐渡総合病院建設の支援と連携、市民病院の運営改善が遅々として進んでいないが。

【市長】 合併5年で我々にできなかった佐渡市民の心が決勝戦の一日で一つになった。「次は必ず」と言っていた監督の意気込みを信じた。

【市長】 佐渡総合病院の移築事業は佐渡市にとって大変重要な医療政策であり、要望の補助金、土地の提供、医療ネットワークに関して

も早急に進めて行かねばならない。市民病院は総務省の公立病院改革ガイドライン関連で運営形態の検討も必要となる。

ガイドヘルパーの設置について

【質問】 重度視覚障がい者のためのガイドヘルパーの対応は十分か。

【質問】 新病院は250床の可能性もあるというがなぜか。

【福祉保健部長】 市として対応はしていないが、ヘルパーを派遣する保険事業所は3か所ある。99人の有資格者が所属しているので個々に相談をしていただきたい。

【親松副市長】 市の財政支援がなければ250床もやむを得ないとの非公

式の見解である。

【質問】 民間病院の医療がダメだと信じるのは「井の中の蛙」的な無知者の知識だ。全国の代表的優良病院は圧倒的に「民間病院」が多い。

【親松副市長】 公立病院はへき地、離島の医療を担っているが、指摘のように佐渡全体の医療面から検討する必要がある。

【質問】 新病院建設と市民病院の運営形態をリンクさせるべきだが。

【市長】 改革ガイドラインの条件は大変厳しい。計画立案の中で運営形態も検討する。



準優勝、佐渡高校の行進



一般質問

田中 文夫 議員

余剰職員の活用策と削減策について



値目標を設定して、一定の年齢以上の人を対象に募集している。

【質問】本市誕生時に積み残職員が多いことに異論はないか。

【答】（宿題）として、い。

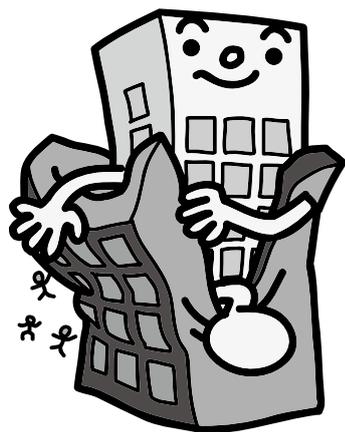
【質問】現在の組織機構を抜本的に改革する意思があるか。

【市長】議会の意見も聞きながら現在汗をかいている途中である。ただ、組織自体は筋肉質になりつつある。

【質問】適正規模から逸脱している職員数（余剰職員）をどのように待遇するか。

【市長】一部事務組合、2つの病院、消防を抱え、支所の統廃合もできていない中、

【総務部長】基準はない。数も考えてみたい。



【総務部長】今後、人事考課制度が定着すれば、その人の特性を別の場所で活かしてもらおう取組みも必要と考える。

【質問】正規軍と遊撃隊といった仕分け、主要・重点施策に専従する特務・特命班、限界集落や拠点地域に地域支援班といったものを配置する考えはあるか。

【総務部長】佐渡市独自の施策展開もあるので、本来の業務とそれ以外の切分けも考えてみたい。

【質問】退職を前提に任意団体やNPOを組織させ、「公の施設」の指定管理や民営化の受け皿にする考えはあるか。

【総務部長】これからの課題である。



一般質問

金田 淳一 議員

合併特例債事業の今後の取組みを問う



内で整備するのが早くできる一番の方法であると思いがどうか。

【質問】期限付きで発行が許された合併特例債は、あと5年間しか使えないが、今後の事業はどう進めていくのか。具体的に小・中学校改築、両津港北埠頭開発、総合社会体育施設整備事業についてどうか。

【市長】学校は統合計画、耐震化計画を調整しながら、優先度の調査を進めていきたい。北埠頭開発は平成25年4月に施設利用が開始できる予定で着手したい。陸上競技場は昨年、低廉な方法も検討されているので、5年以内で利用できるようにしたい。総合体育館、佐渡会館、その他はおいおい形を固めていきたい。起債の許される範囲でできるだけ有利債を活用したい。

【質問】総合社会体育施設整備事業については耐震の第2次診断の結果を見ながら、全体の計画を策定したい。指摘の学校は老朽度が高いと認識している。

【質問】北埠頭にはどういう施設を整備するのかが。緑地、駐車場、佐渡の環境、文化伝統をPRする建物を考えているが、現在存在している港庁舎の今後についても併せて検討中である。

【質問】陸上競技場は現在の敷地

内では整備するのが早くできる一番の方法であると思いがどうか。

【質問】総合体育館は合併特例債で建設するのが最後のチャンスと思うがどうか。

【市長】国仲1か所は島民の願いと認識している。特例債期間内に着手したいと考えている。

【質問】陸上競技場は現在の敷地

内では整備するのが早くできる一番の方法であると思いがどうか。



真野陸上競技場



一般質問

中川 直美 議員

地産地消で 佐渡づくりを

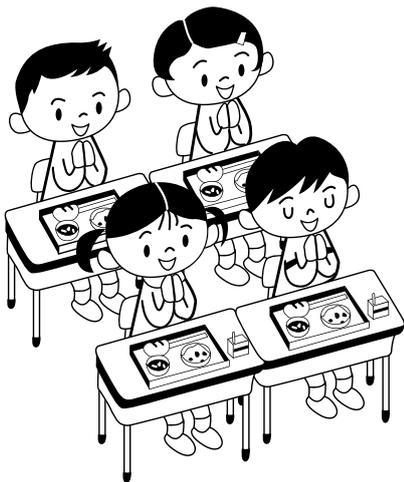


庁内プロジェクトを立ち上げた。学校給食で米等を除く野菜と副菜で購入金額は約2億円。PEN食器は基準に適合していて、問題ないと考えている。

【質問】 昨年の参院選は「地方の反乱」の結果、地方交付税の地域再生対策費が増額になり、佐渡市は約6億円で県内で4番目だが、

【市長】 地方再生対策費の増額は、いき過ぎたやり方を地方が働きかけてきた結果と思う。

【質問】 来年の第4期介護保険事業の計画策定に活かすべき諸問題は、軽度者に対する対策が必要ではないか。
【市長】 3期は、抜本的な改



【質問】 小・中学校統合での交通手段は「スクールバス配置」を基本として取り組むべきではないか。

【市長】 統合の通学は、路線バス運行していないところ

【質問】 地域審議会は、上越市で位置付けているように地域の核として位置付けを。また、今後の支所のあり

【市長】 地域に根付いたとは言いがたい。地域特有の問題を強く言ってもらっているが、佐渡全体としての視点が弱いと考えている。今後、行革方針等について発信していきたい。



一般質問

猪股 文彦 議員

農・畜・水各産業の 新たな展開で 佐渡の発展を



間で約200軒もの商工会員が辞めている現状をどのように支援しようとしているのか。

【質問】 中国産食品の危険性が指摘されてから食の安全や自給率の観点からも、自然に恵まれた佐渡は、農産物、畜産物、海産物の新しい展開に目を向けるべきである。たとえば、しいたけは新潟県の85%を佐渡で生産している。もつと発展させるために、原木、こま打ちに70%程度の補助金を出すべきである。また、養豚

【市長】 朱鷺の認証米制度で

【質問】 観光の不振、中小の豚を生産してもよいという会社がある。さらには冷凍技術でマグロ、ノドグロ、策が必要と考える。国も

【市長】 新年度から始めたいと考えている。



朱鷺認証米

9000億円の出出で10兆円あまりの中小企業対策を行うことになっているが、合併後4年

一般質問

金光 英晴 議員

農業公社の 統廃合について



【質問】 現在農業公社は4社あるが、1自治体に1つが望ましい。南部地域の特殊性を考慮しても2公社にすべきであり統廃合の現状を問う。

缶については来年4月から全島で統一する。

新年度指定管理を 更新予定の施設は

【質問】 9月議会で予定していた産業観光部所管の施設また指定管理になじまないと指摘したデイサービス施設を今回上げているのはなぜか。

【市長】 今年度中に新穂は両津産業振興公社への吸収統合を進める。

【産業観光部長】 赤泊と羽茂の公社は、現在統合へ向けての話し合いを進めている。

【質問】 新穂の公社が高額な借地料を支払っている根拠は何か。

【市長】 公募選定条件等を施設ごとに見直した結果として提案があった。デイサービス施設は再指定して今年度中に民間譲渡を進めていく。

【農業振興課長】 地権者から農協が借用し、更に公社が借りた形になっている。

合併協議のごみ処理 手数料の統一は

【質問】 合併5年目になっても手数料が統一されてないのはなぜか。

【市民環境部長】 空きビン・空

学校の耐震施設
診断の公表は

【質問】 安全安心が第一の学校施設については、統廃合に関係なく耐震診断の結果を公表すべきではないか。

【教育長】 昭和56年度以前に建築の校舎と体育館は、耐震診断の優先度調査が終了した。今後は学校統合計画と照らし合わせた、より高度な耐震二次診断を行った後に耐震化計画を作成し、計画ができ次第、公表していく。

一般質問

浜田正敏 議員

トキ、世界遺産、杉の群生 林の生態系・環境・文化が 島おこしの原点である



【質問】 幹部職員が持ちえな感性的は他から採用する。経営の感性を持った人材を採すれば行財政改革などおのずと解決する。また行政に複式会計の感性を必要と理解するか。

【市長】 複式会計は投資と成果の面から、幹部職員も最近は理解している。

【質問】 地域おこしは、地場産業の育成からと言われている。まず実態の把握であり、職員による心の通った調査が必要ではないか。

【産業観光部長】 佐渡産だけを扱うアンテナショップを立ち上げ調査をしている。

【市長】 実態調査は良いと思う。貴重な提案と受け止めていく。

【質問】 5月の連休とお盆の大事な時に、魚市場が休業のため、新鮮な魚が食べられない。部分的な出漁は考

【教育長】 文化庁の指導も受けな

【産業観光部長】 指摘のとおり需要と供給であり部分的な出漁の調整をしてみたい。

【質問】 洞爺湖サミット晩餐会の正面いっぱい飾られた写真の巨木は新潟大学演習林に隣接する閑集落にある。大学であれ、集落の所有林であれ、佐渡の財産である。後手であるがこの群生林の保護を真剣に考えているのか。また、トレッキングコースに閑地区が外れた理由を聞きたい。

【市長】 大事なことであり、教育委員会準備をしている。

【質問】 文化庁の指導も受けな

【市長】 文化庁の指導も受けな

【市長】 文化庁の指導も受けな

【市長】 文化庁の指導も受けな

【市長】 文化庁の指導も受けな

がら大学と相談を始めていく。今後は閑集落も含めて検討したい。

【産業観光部長】 現在は北松ヶ崎コースであり、閑のコースは引き続き関係者と検討をしたい。

【質問】 佐渡会館の代替施設の建設計画はどのようになっているか。

【市長】 ぜひ造りたいと考えていて、どの起債を借りるかということも含めて検討中である。



洞爺湖サミット晩餐会で飾られた原生林の巨木の写真

一般質問

廣瀬 擁 議員

総合防災訓練の
反省点と課題



【質問】 8月31日実施の総合防災訓練の反省点と課題について問う。

【市長】 関係機関14、国仲地区の自主防災組織13団体の役員を中心に参加。自主防災組織の皆さんには避難所設置訓練や負傷者応急手当訓練をお願いした。どこで災害が起こっているのかわかなく、本部で緊張感がなかった。何がどうなったのかイメージを持って明確に対応する意識が足りなかった。訓練として形はできても方が一、災害が起きたときに自分の体の中で機敏に対応ができるのか心配である。



総合防災訓練の様子

【質問】 せつかくの総合防災訓練なのにPR不足からか一般参加者が少なかったが、総務部長 関係機関で反省事項を整理している。600人の参加で一般から

【市長】 メイン会場の佐和田地区では日頃からボランティアの皆さんが大変よくやってくれて感謝している。親水公園に近いような感じで地域に愛されている。海

は3000人の参加である。市報さど、市のホームページ、CNSテレビ、回覧板、有線放送設備等でお知らせしたが、今後一般来場者と一緒に訓練していきたいと考えている。

【質問】 市街地に残る歴史的遺産を結ぶ散策ルート整備と相川の中心市街地活性化を目指す「まちづくり交付金事業」が市民に目に見える形で進んでいないが。

【市長】 世界遺産登録を目指す散策型観光と町中の交流人口を増加し観光地相川の活性化を図る事業で国交省の予算であるが、文化庁の指導を受けながら進めている。世界遺産のコアゾーンになると考えているので文化財もあるので慎重に進めていきたい。

【産業観光部長】 ソフトとハード事業があり、平成19年度から始まり2年目になる。大間港と北沢選鉱場の近代化遺産の環境整備をしている。北沢地区で昭和初期の遺産が出てきたことで工事が遅れているが文化庁と慎重に協議し進めていきたい。大間地区は今年中に完成したい。

一般質問

大桃 一浩 議員

佐渡経済の
復興が必要



市職員の有効活用について

【質問】 類似団体の2倍以上いる職員を適正に配置し余剰職員を利用して佐渡経済の不況対策、景気浮揚策に人員を配置すべきである。

【市長】 指摘のとおりこれらの施設などの統廃合が進んでいない。さらに施設の統廃合を進めながら、職員の適正配置を進めていく。

小・中学校の統廃合について

【質問】 コールセンターの設置に向けて施策を進めている。公益法人についても今年度の法改正以降に設置すべく進んでいる。新産業についても県と連携をとりながら事業実施を進める。病院バス等の運行形態についても住民が不便と感じないよう、調査しながら島内交通機関の整備を進める。

【市長】 耐震診断を進めた後、その結果により策定した統廃合計画を変更すべきと考

遊休土地、施設、車両の整理について

【質問】 佐渡市が多く抱える、

遊休施設、土地、車両の整理が遅々として進んでいないがこれらが人員適正配置に支障をきたす原因となっているのでは。

【市長】 指摘のとおりこれらの施設などの統廃合が進んでいない。さらに施設の統廃合を進めながら、職員の適正配置を進めていく。

新佐渡空港について

【質問】 現在の場所での新佐渡空港建設は、多くの点で不備がある。羽田空港発着枠拡張による発着枠の確保と同時に新たな場所での用地確保を進めるべきと考える。

【市長】 現在の場所での新佐渡空港の建設を進めることが現在の最善の策と考える。同時にターボプロップ機の試験運航を進めながら羽田発着枠の確保を進めていく。

世界文化遺産登録について

【質問】 まもなく世界文化遺産暫定リスト入りの吉報が届くが、その前後の市の対応を問う。

【教育長】 吉報が届いた後に不備がないよう佐渡市も対応をしていく。

一般質問

佐藤 孝 議員

本庁・支所の あり方について



介護施設整備について

【質問】 待機者が多い中、空き校舎の転用も含め介護施設整備を早急に進めるべきでないか。

【質問】 支所・出張所を今後総合体育館が必要と思うが、どのような体制にするのか。

【市長】 合併当初、約束した支所は窓口業務に特化して人員配置をしたい。

【質問】 補助金の見直し目標はどのくらいか。

【総務部長】 行政評価システムの中で洗い出しをし、補助金全体の中で2%削減を目標としたい。

【質問】 2%では少ないのではないか。

【総務部長】 2%の目標を上回る目標設定をし、取り組む目標設定をしたいと思います。

【質問】 業務の効率化アップと人員削減のためにも電子決裁を導入したらどうか。

【総務部長】 導入している市も参考にし、もう少し検討の時間をいただきたい。

【質問】 スポーツ施設の整備に関し、南部地区エリアに

【質問】 総合体育館が必要と思うが、合併当初、約束した中の一部については、多目的に利用できる施設が必要であることは認める。

【教育長】 統廃合計画見直しも含め、市民の皆さんが効果的に利用でき、大会誘致にも対応できるように、関係団体の意見を聞き、場所、規模等を検討したい。

【質問】 公民館自主講座へのスムーズな移行ができる支援をすべきと思うが。

【教育次長】 社会教育委員が各地に行き、課題、問題を聞き話し合いを進めている。行政指導であったことは反省し、講座の開設や運営に向けて今後も努力していきたい。

【質問】 21年～23年の第4期介護計画の中で進めたい。

【福祉保健部長】 定員30人以下の地域密着型特養整備を進めていきたい。また、公

共施設の見直しも含め推進を図っていく。

【質問】 生涯学習について

生涯学習について

開設や運営に向けて



整備が待たれる介護施設

一般質問

祝 優雄 議員

佐渡観光の 問題点



【質問】 観光関連の問題点について聞きたい。豊かな自然と新鮮な魚貝類に出会えるものと大きな期待を抱きつつ佐渡に来たが、海水浴のトラブルと佐渡でなければの食材に出会うことができなかつた寂しさ、もてなしの心の希薄さに多くの観光客から不満の声が聞かれる。何が原因なのか。

【市長】 観光客の食ともてなしに対する不満、ことあるごとに佐渡に存在する豊かな食材の提供が必要。もてなしの内容によって客自身の選択が進んでいる実態を喚起しているところであるが、全体の客から喜んでいただけるレベルでないことも残念ながら事実である。

【質問】 佐渡に来る客の多くが豊かな自然、透明度の高い海、魚貝類の豊富な海に憧れを持ち訪れる。残念な

ことに今年も海水浴を楽しみに訪れた多くの人たちが地元漁業者とのトラブルに不愉快な思いを抱きつつ帰って行った。漁業権の設定がある限り、観光客が自由に泳ぎ、魚貝類の採取を楽しむには制約が多すぎる。

一、そもそも「海は誰のものなのか」。

一、佐渡の海で一定のルールの基で誰でも魚貝類の採取を楽しむことのできる海域はあるのか。

一、佐渡の海で遊魚者がヤスでタコを取ることはできるのか。

【市長】 佐渡の海は誰のものかと言われると、元々は住民が自由にできる海であった。現在は、生産者（漁業者）の立場を保護するために漁業権が設定されている。

【産業観光部長】 佐渡周辺の海すべてに漁業権の網がかか

っている。また、ヤスでタコをとることができるかとの問いであるが、新潟県の漁業調整規則では、漁業者以外どのような方法であれ取ることができない。言われるとおり、佐渡の海を楽しみに訪れた人々が魚貝類を取ることができない、不思議なことと捉えている。

漁業権を設定している漁協、観光協会、旅館の関係者と協議し、来年度に向けて調整していきたいと考えている。

【質問】 共同漁業権の対象となっている。遊魚者が取ることのできないものを報告願いたい。

【産業観光部長】 アワビ、サザエ、カキ、アサリ、イガイ、ワカメ、イワノリ、モズク、テンゲサ、タコ、ギンパソウ、アラメ、ツルモ、アカ

モクとなっていて、遊魚者がこれらを取ると漁業権の侵害や窃盗罪に問われる場合がある。

に漁業権が設定されている。

に漁業権が設定されている。

に漁業権が設定されている。



一般質問

本間千佳子 議員

地域の活性化は共生社会の構築に



トキの野生復帰と世界文化遺産登録に向けて

【質問】 9月に入り、佐渡トキ保護会で作っているピンク色の物や佐渡市の白色のぼりが各地で見られるようになり、25日の試験放鳥を待つばかりとなった。地域住民をはじめ、環境省や新潟県、佐渡市等、トキ放鳥に携われた関係者の方々の尽力に感謝する。一方で

は豊かな文化と美しい自然が残る佐渡を世界遺産登録にと進められている。佐渡を全国にPRする絶好のチャンスであるが取組み状況を聞きたい。

【市長】 合併当初から美しく環境にやさしい島づくりに取り組んできた。それが産業振興や経済に大きな役割を果たす島づくりになると考え、発信をし、評価をいただいている。最近、大学生が研究に入っている。来年には新潟大学が環境関係で分室をつくる。環境アドバイザー制度では27人の登録があり地域環境学習を進めている。職員と環境フェアを開催したり、活躍をしてくれている。トキ放鳥のパンフレットは検討しなかったが、回覧板等で知らしめたい。首都圏ではイベントを活用して、トキをモチーフにした芸能活動やボランティアに市民団体から協力が得られた。世界文化遺産登録は環境に熱心な地域でないといけない状態であり、努力した成果をいち早く示したい。

発達障がい対策について

【質問】 発達障がい者支援法は、制度の谷間におかれていた「発達障がい」のある人が年齢に合った適切な支援を受けられる体制整備を広く国民全体に理解されることを目指している。発達障がいはこだわりが強く、落ち着きがなく動きまわる症状にある。早期発見と支援が大切とされているが取り組みを聞きたい。

【市長】 当市では該当する状態があれば保健師が相談に応じる。新潟市にある支援センターを紹介する等の社会的弱者に対する必要な措置を講じている。障がいがあっても安心して生活できるユニバーサルな社会を願い、交流の機会を設けて理解を求めている。



トキ放鳥を見学する小学生たち

は豊かな文化と美しい自然が残る佐渡を世界遺産登録にと進められている。佐渡を全国にPRする絶好のチャンスであるが取組み状況を聞きたい。



一般質問

加賀 博昭 議員

ATR70人乗りを羽田に飛ばす



【質問】 去る8月21日、佐渡空港問題で泉田知事に陳情した折、知事は2年後の羽田空港整備に向けて佐渡からの乗り入れ枠を取るため、ATR70人乗りを第三セクターでも飛ばすと言ったが今までの県の説明にあったのか聞きたい。

佐渡総合病院について

【市長】 平成22年の羽田空港整備の1.4倍の改良に伴い、地方空港乗り入れ枠の争奪が始まっている。2000メートル滑走路計画を待っていて

【質問】 両津病院の建設償返済繰出金は、23年には現在の1億8000万円は958万円になり、一般会計繰出金は必要なくなる。経営は院長中心の経営にすべきで看護師の募集に本庁の課長、部長の決裁は経営停滞の元であるがいかがか。

談合は時効にするな

【質問】 8年10月16日に私が指摘したごみ焼却場の談合事件の時効完成を許すな。資料より」の間違った数字は名譽にかけて正せ。

両津病院について

【市長】 佐渡病院の移転、新築については16年から佐渡病院と協議している。県との交渉については議員指摘のとおり遅まきながらこれから県に陳情する。



10月2日羽田空港へ飛び立つ

両津病院について

でどちらも間違っている。